

# 日本公共政策学会 会報 No.40 2012年4月

PPSAJ Newsletter

Public Policy Studies Association, JAPAN

<http://ppsa.jp>

## 目次

1. 2012 年度研究大会について
2. 2012 年度理事候補者選考に関するお知らせ
3. 「公共政策フォーラム 2012 in 篠山」開催予告
4. 新入会員の紹介
5. 事務局からのお願い

## 1. 2012 年度研究大会について

共通テーマ：「政権交代と公共政策」

開催場所：立命館大学朱雀キャンパス

### ◆開催趣旨

6月、京都での研究大会への期待——合計30セッションへの誘い

2012 年度研究大会企画委員長 上山信一

今年度の研究大会は、2012年6月16日(土)、17日(日)に立命館大学朱雀キャンパスで開催されます。全体の共通テーマは「政権交代と公共政策」です。09年の政権交代がわが国の政治・経済・社会にどのような影響を与えたのか、そこで展開された国と自治体の政策がどういう成果と課題をもたらしたのか考えます。

政権交代から約2年半。政府の最大の試練は大震災と原発事故への対処でした。また外交では普天間、尖閣、TPPの三大課題に、内政では消費増税や大都市制度の見直し等の難題に直面しました。そのほか政治主導による改革として事業仕分けや次官会議の廃止なども断行されました。

政権交代後の国政は依然、不安定です。安倍政権以降に始まる「毎年、首相が交代」という現象は解消できず、メディアによる「もうすぐ解散・総選挙か」という憶測報道も絶えません。そんな中、地域政党への関心が高まっています。

「2009年の政権交代の意義は何だったのか」「今後の政権交代はいつにあるべきか」。素朴かつ本質的なこの2つの問いへの答えをそろそろ準備しなければなりません。きちんとした評価と検証の時期としては、あまりにも尚早です。しかし答えを考える材料はかなり集まっているのではないのでしょうか。

なお政権交代の評価というところから民主党の統治能力や政策の是非の議論に終始しがちです。しかし政権交代の成否は交代プロセスの良し悪しにもかかっています。すなわち総選挙や代表戦(総裁選)、閣僚の選抜・訓練のプロセス、政党のガバナンスやマニフェストと政策・予算の関係も問い直すべきでしょう。

大会テーマの「政権交代と公共政策」はこれからの「ポスト政権交代」時代を考えるきっかけとすべく設定しました。

2日間の中身を紹介します。共通セッションには「大都市制度」「震災復興」「財政と民主主義」の3つを設定しました。またテーマセッションには実行委員会と相談のうえ「公共事業」「政策規範」「地方自治」「住宅政策」の4つを設定しました。一般公募セッションでは報告10件、パネル報告3件、若手報告セッションでは報告が10件あります。

それでは皆様、初夏の京都にて多数の会員とお会いできるのを心待ちにしております。

◆プログラム案

2012 年度研究大会実行委員長 宮脇 昇

現在までに決まりましたプログラム（一部未定あり、正式プログラム、学会 HP をご参照ください）を掲載いたします。正式なプログラム・レジュメ集は、5 月に入りましたらお送りいたします。併せて出欠のはがきも同封いたしますので、必ずご返信くださいますようお願い申し上げます。

\*朱雀キャンパス（京都市中京区）は衣笠キャンパス（京都市北区）とは異なります。

JR 嵯峨野線・京都市営地下鉄東西線の最寄り駅は「二条」駅、阪急京都線の場合は「大宮」駅、市バス・JR バスの場合は「千本三条・朱雀立命館前」（系統番号 6・46・55・69・201・206）

\*駐輪・駐車場はございません。公共交通機関にてご来場ください。

第 1 日		2012 年 6 月 16 日	
9:00～	受付		
9:30～11:30	大講義室	<b>共通テーマ I 「震災復興政策—中間総括と今後の課題」</b> コーディネータ：宇佐美誠（東京工業大学） 基調講演：御厨貴（放送大学） パネリスト：御厨貴、松原聡（東洋大学）、中川雅之（日本大学）、長坂俊成（防災科学技術研究所）	
13:00～15:00	大講義室	<b>共通テーマ II 「これからの大都市行政のあり方—制度と経営の視点から—」</b> コーディネータ：上山信一（慶應義塾大学） パネリスト：浅田均（大阪府議会議長）、後房雄（名古屋大学）、新川達郎（同志社大学）	
15:15～17:30	301	<b>企画委員会テーマセッション I 「これからの公共事業—地域／自治体発のダム政策の見直し」</b> コーディネータ：上山信一（慶應義塾大学） パネリスト：宮本博司（榊樽徳商店代表、元国土交通省）、辻光浩（滋賀県庁）、戸田香（神戸大学）	
	308	<b>開催校テーマセッション I 「ウソと公共政策—なぜウソがまかり通るのか」</b> 司会：西出崇（立命館大学） 討論者：小幡範雄（立命館大学）、依田博（京都文教大学）	<b>「地球環境政策と規範競合（仮題）」</b> 横田匡紀（東京理科大学）  <b>「選挙監視とウソ—OSCE における選挙監視メカニズムの成立とその受容過程」</b> 玉井雅隆（立命館大学）
	303	<b>自由公募セッション I 「パネル企画：ガバナンス時代の政策実施」</b> 司会：伊藤修一郎（学習院大学） パネリスト：新井利民（埼玉県立大学）、荒見玲子（東京大学）、砂原庸介（大阪市立大学）、岡本哲和（関西大学）	
	307	<b>自由公募セッション II</b>	<b>「立法過程と縦割り行政—平成 17 年独占禁止法改正をめぐって—」</b> 吉田茂（法政大学） <b>「情報公開制度はどのように利用されているのか？」</b> 増山幹高（政策研究大学院大学）、竹田香織（政策研究大学院大学） <b>「再生可能エネルギーの普及と中央地方関係」</b> 上田誠（同志社大学）

	304	自由公募セッションⅢ	「地域経済を活性化させるための有効な IT 活用に関する研究」 榎並利博 (富士通総研) 「規制監督の強度並びに規制の設定・執行関係の線形回帰モデルによる定量化: 金融庁発足以来の金融行政を事例として」 保井俊之他 3 名 (慶應義塾大学) 「災害ハザード情報に関わる公共政策的課題と情報の有効活用方策」 黒澤之 (中央大学)
--	-----	------------	---

18:00~18:30	大講義室	総会
-------------	------	----

19:00~20:30	たわわ (朱雀キャンパス 7階)	懇親会
-------------	---------------------	-----

<b>第 2 日</b>	<b>2012 年 6 月 17 日</b>
--------------	------------------------

9:00~	受付
-------	----

9:30~11:30	303	若手報告セッションⅠ	「道路裁判における費用効果の分析の意義」 田畑琢己 (法政大学)
			「ソーシャルメディアは政治家を雄弁にしたか—Twitter を活用する国会議員の双方向性と伝播力の分析—」 小野塚亮 (慶應義塾大学)、西田亮介 (立命館大学)
			「米国情報庁 (United States Information Agency, USIA) の組織生成過程—米国プロパガンダ組織のダイナミズムをいかに説明するか—」 平松純一 (拓殖大学)
	304	若手報告セッションⅡ	「都市計画ガバナンスにおける住民参加の態様: 都市計画提案にみる市町村マスタープランの実効性」 加納知行 (慶應義塾大学) 「蜷川虎三の地域開発—長田野工業団地の事例—」 朱然 (京都大学) 「大阪維新の会への支持態度の一考察」 秦正樹 (神戸大学)
301	若手報告セッションⅢ	「過去 20 年間の衆参予算委員会における与野党対立構造の分析」 木下健 (同志社大学)	
		「省庁間協力による横断的政策課題への対応」 助川康 (オックスフォード大学・防衛省)	
		「1950-1960 年代における日本の安全保障政策—武器輸出管理の事例から—」 稲澤宏行 (立命館大学)	
307	若手報告セッションⅣ	「制度化する社会的責任—政策デザインにおける規格の類型とその適用—」 橋本圭多 (同志社大学)	
		「政策学における「問題」の発見とは何か」 早瀬善彦 (京都大学)	

13:00～15:00	308	<b>開催校テーマセッションⅡ「良好な住宅ストックの形成・流通のための公共政策」</b> 司会：高村学人（立命館大学） パネリスト：「ストック形成の住宅政策—日本の現状と課題」 塩崎賢明（立命館大学） 「マンション管理の市場評価のために—京都マンション管理評価機構の取組」 安枝英俊（京都大学） 「京町家の保全・流通のための施策の展開」 森川宏剛（公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター）	
	301	<b>開催校テーマセッションⅢ</b> 「比較の中の地方自治」 司会：徳久恭子（立命館大学） 討論者：曾我謙悟（神戸大学）	「フランスと日本の地方公務員制度—その運用と比較」 玉井亮子（山梨県立大学）
			「地方政府の政治変動と政策継続：日本の官僚機構の施策実施における行動様式についての一考察」 孫京美（立命館大学）
			「戦後府県知事部局の組織編成：制度的環境と組織編成の「正当化」に着目して」 稲垣浩（元首都大学東京）
	307	<b>自由公募セッションⅣ「パネル討論：ガバナンスの創造と public/private 概念の再構築」</b> 西田亮介（立命館大学）、生貝直人（慶應義塾大学）、山口翔（立命館大学）、松原真倫（慶應義塾大学）、菊地尚人（慶應義塾大学）	
	303	<b>自由公募セッションⅤ</b>	「長野県内の住民投票」 野口暢子（長野県短期大学）
			「日中関係における天皇の役割」 蘇俊斌（台湾中国文化大学）
	304	<b>自由公募セッションⅥ</b>	「「株井戸」の再考—現代の地下水管理政策への示唆—」 遠藤崇浩（大阪府立大学）
「質的調査と量的調査の融合を用いた途上国における幼児の水利用実態と水系感染症のリスクの定量的把握」 佐田美香（東京大学）、浜崎宏則（総合地球環境学研究所）、片山浩之（東京大学）			
多目的室 1+2	<b>自由公募セッションⅦ「パネル討論：ガバナンス論の新展開—制度論とネットワーク論の交差」</b> 司会：山本啓（山梨学院大学） パネリスト：風間規男（同志社大）、堀雅晴（立命館大）、今里佳奈子（愛知大）		
15:15～17:30	大講義室	<b>共通テーマⅢ「財政問題—民主主義と財政コントロール、福祉国家モデルは持続可能か—」</b> コーディネータ：松原聡（東洋大学） パネリスト：飯尾潤（政策研究大学院大学）、他	

\*報告の予稿集は、準備でき次第、学会のホームページにてアップロードいたします。  
 大会当日 CD-R でも販売いたしますので、ぜひご購入くださいますようお願いいたします。

## 2. 2012 年度理事候補者選考に関するお知らせ

理事候補者推薦委員長 大山耕輔

次期理事の選出は、この6月の総会において行われますが、2003年度総会（2003年6月14日に開催）で承認されました「理事選任に関する総会申し合わせ」に従いまして、総会開催前にあらかじめ会員に対して、総会で推薦する予定の理事候補者のリストを通知することになっております。委員会として、理事選出規程に基づいて理事候補者の推薦のための作業を終え、理事候補者の一覧を別紙で同封いたしました。ご意見等がございましたら、下記の理事候補者推薦委員長あてに4月30日までに文書またはメールにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学法学部 大山耕輔  
E-mail : oyama@law.keio.ac.jp

## 3. 「公共政策フォーラム 2012 in 篠山」開催予告

来年度の公共政策フォーラムは、2012年10月27日（土）、28日（日）に兵庫県篠山市で開催されます。開催場所は、「市民センター」が予定されています。詳細は追ってお知らせしますが、ふるってご参加いただきたくお誘いいたします。

## 4. 新入会員の紹介

向井陽子、SAVIRI Mariana Dyah、早田吉伸、石田裕了、辻 由希、山田宏、賀来健輔、鶴養幸雄、楠山大暁、木下健、榎本弘行、朱 然、生貝直人（敬称略） 13人が1月21日に承認されました

## 5. 事務局からのお願い

会員の皆様の所属先、住所や連絡先等に変更があった場合は、必ず事務局までメール等でご連絡くださいますようお願い申し上げます。

### 会報パスワードについて

学会ホームページに掲載されていますが、バックナンバーの閲覧には以下のパスワードが必要です。

「20ppsj05」

### 日本公共政策学会 会報 第40号

2012年4月18日発行

編集・発行 日本公共政策学会事務局

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

東洋大学経済学部 松原研究室

FAX : 03-3945-7415

電子メール : jimukyoku@ppsa.jp

郵便振替口座 : 01090-2-44655 日本公共政策学会

学会ホームページ : <http://ppsa.jp/>

PPSAJ Newsletter No.40 April 2012

Copyright 2012 Public Policy Studies Association, Japan

